



東北最大規模の写真の祭典 塩竈フォトフェスティバル2018

本市出身で、しおがま文化大使の写真家・平間至さんが中心となり、2008年にスタートした「塩竈フォトフェスティバル」も今回で6回目。「自己と他者」をメインテーマに、写真の持つさらなる可能性を感じていただける企画をお届けします。

イベント情報 ※12日(月)は休み。

入場料800円 (各会場共通)

塩竈市杉村惇美術館会場

■ポートフォリオ・レビューと写真賞

第一次審査を通過した40人が、レビューワー(講評者)と1対1で講評を受けます。

ポートフォリオ・レビュー(写真公開講評会)

とき 3月17日(土)10:30~16:30
公開審査

とき 3月18日(日)10:30~12:30
写真賞授賞式

とき 3月18日(日)14:00~14:30

■「牛腸茂雄 まなざしの交差」展

「自己と他者の関係性」を探求し続けた牛腸茂雄氏の作品を展示します。

とき 3月7日(水)~18日(日)



(SELF AND OTHERS)より、1977年

■ギャラリートーク

牛腸茂雄関連トーク

三浦和人×平間至

「異形の境界線」

とき 3月11日(日)12:30~14:00

エスパ会場 ※入場無料

■「100の思い」展

福島、宮城、岩手県の中학생から寄せられた「思い」の詰まった写真100枚を展示します。

とき 3月7日(水)~18日(日)

ビルドスペース会場

■北田瑞絵

「一枚皮だからな、我々は。」展

前回大賞受賞者の写真を展示します。

とき 3月7日(水)~18日(日)

■ギャラリートーク

「一枚皮だからな、我々は。」

北田瑞絵

前回大賞を受賞した受賞作「一枚皮だからな、我々は。」について、展示作品の前で語ります。

とき 3月18日(日)16:00~16:30

亀井邸会場

■「あなた/わたし」展

「自己」と「他者」をテーマに取り組む写真家たちの視点を探ります。

とき 3月7日(水)~18日(日)

その他会場 ※入場無料

■「SGMA写真部」展

2017年に発足した「SGMA写真部」の活動から生まれた作品を展示します。

とき 3月7日(水)~18日(日)

ところ ①尚光堂(港町1-1-16)
②カフェ談話室、サロン
(杉村惇美術館内)

■ねこフォトピツェリア

川村友子(猫の写真)と佐藤敦子(羊毛フェルト)によるちいさな展覧会。

とき 3月7日(水)~18日(日)

ランチ・カフェ 11:30~14:30
ディナー 17:30~21:00

ところ Pizzeria La Gita
(港町1-6-10)

☎ ふれあいエスパ塩竈 ☎ 367-2010

3.11 POWER of LIFE in SHIOGAMA MIYAGI

東日本大震災直後から、本市の復興のために継続的に支援していただいているDragonAshのダンサーATSUSHIさんが中心となり企画されたライブです。

支援活動を機に生まれた交流を深め、新たな触れ合いを求める場として開催され、今回で7回目を迎えます。

とき 3月11日(日) 17:30~(17:00開場)

ところ ふれあいエスパ塩竈 エスパホール ※入場無料

出演 ATSUSHI(DragonAsh)、柴田三兄妹、島津和人、
Genkids☆のりのり塩竈、秀ちゃんラーメン



☎ ふれあいエスパ塩竈 ☎ 367-2010